

第4報

平成24年6月22日

大隅河川国道事務所

記者発表資料 国道220号法面崩壊について 22時30分発表

平成24年6月22日10時45分頃、垂水市牛根境付近（国道220号178k000ポスト付近）にて、法面崩壊が発生しました。

当該地区の国道220号線は、全面通行止めを継続しています。

現在、照明車等を利用した現地状況の監視およびTEC-DOCTORの鹿児島大学大学院准教授の井村隆介先生による現地調査結果をもとに応急復旧の準備を実施中です。

現地は2次災害のおそれがあるため、本日の応急復旧の着手は見送り、明日、5時00分から応急復旧に着手する予定です。

ただし、今後の崩壊現場状況および気象状況によっては予定変更の可能性が
あります。

迂回路は別添の通りです。

道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしく
お願いいたします。

記者発表に関する問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所
鹿児島県肝属郡肝付新富1013-1
電話（0994）65-2541

事務副所長

かわぞえ まさずみ
川添 正純（内線202）

調査第三課長

ぬまた ひであき
沼田 英昭（内線451）

迂回路図





法面崩壊想定箇所

被災箇所

垂水市牛根境付近(国道220号178k000ポスト付近) 6月22日16時現在